

小淵沢 de
黙示録

これから
この時代に
起きること

イスラエルとハマスとの戦争

- 10月7日、ハマスの大規模テロの衝撃
- 惨劇の中でも、免れた最悪
 - もしヒズボラが連携していたら？
 - イラン、中国、北朝鮮が連動したら？
- 世界中で高まる反ユダヤ主義

世界はこれからどうなるの？



アウトライン

0. ざっくり千年王国論
終末論のおさらい
- I. 世界大戦
- II. イスラエルの建国
- III. エルサレムの支配
- IV. 北の諸国連合の侵攻**
- V. 世界統治機構の出現
- VI. まとめと適用

世の終わりに生きる私たち
聖書の希望は終末的希望



今日のメイン





0. ざっくり千年王国論

ペト라의遺跡

おもな三つの「千年王国」説

- ① 千年王国前再臨説 (使徒たち・初代教会)
“文字通りの解釈”
→ 再臨したメシアが建設するのが千年王国

神に委ねる
しかない!!

- ② 無千年王国説 (カトリック・東方正教会)
“比喩的に解釈”
→ 千年王国は制度的な教会のこと

教会が
すべて!!

- ③ 千年王国後再臨説 (プロテスタントの多数)
“折衷案的に解釈”
→ クリスチャンが造る理想世界が千年王国

クリスチャンが
頑張らなくちゃ!!

「千年王国前再臨説」の三つの立場

真の信仰者が天に挙げられる「携拳」がいつ起こるかで、三つの立場に!!

①大患難前携拳説

突然、携拳が起こり、そのしばらく後、大患難が始まる。

→携拳は、いつか分からない!!

②大患難中携拳説

7年間の大患難の中間期に携拳が起こる。

③大患難後携拳説

7年間の大患難の後に携拳が起こる。

大患難が始まったら
携拳の時期が
分かっちゃう!!



0. 終末論のおさらい

聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある

天地創造

人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活

世界の回復
(完全な神の国)

キリストの再臨

これから起きること

今の時代(教会時代)

ゴールは、世界の回復、完全な永遠の「神の国」

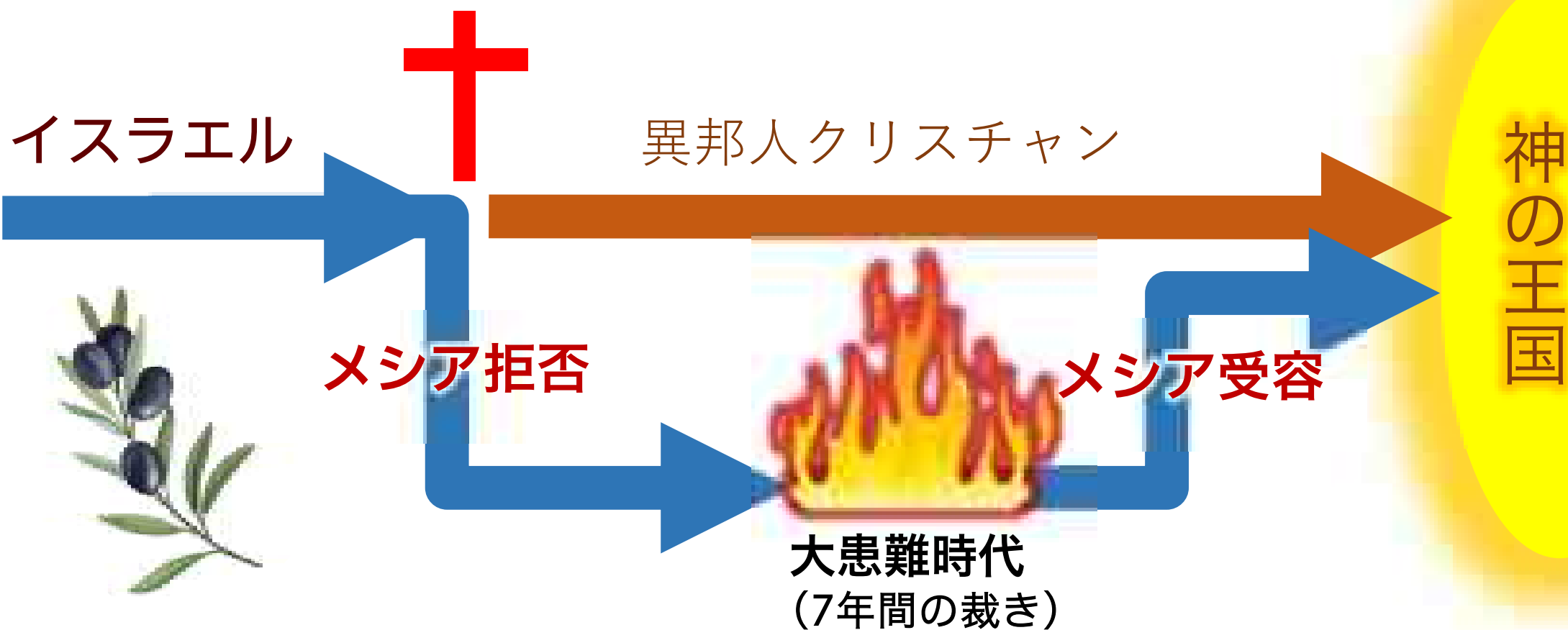
なぜイエスは、すぐに来ない？

- イエスは、まだ王になられていない。
→ 地上は、悪魔に不法占拠された状態
- 再臨のイエスは、「裁き主」として来られる。
→ 悪と罪人は、厳しく裁かれる
- 今の**恵みの時代**は、一人でも多くの人が、福音を信じて救われるための“**猶予期間**”



イスラエルの救いの計画

メシアを拒んだイスラエルの民族的回心の時が来る!!



★終末MAP★

【パラダイス】

【天上の礼拝】

【新天地】

【千年王国】

白い御座の裁き

【ゲヘナ(地獄)】

【シエオール(陰府)】

キリストの再臨

教会の携挙

聖霊降臨

【教会時代】

【大患難時代】



神の計画・この時代に起きること

携拳は、いつ起こるか分からない

(ホロコースト)

① 世界大戦

地震の激増

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)

1948

③ エルサレム支配

(旧市街占領)

1967

(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

④ 北方からの侵略

⑤ 世界政府

⑥ 反キリスト と契約

大患難時代
(7年間の裁き)

エルサレムの回心

キリストの再臨

千年王国



1. 世界大戦

世の終わりのイエスの教え

マタイ24:7~8

「民族は民族に、国は国に*敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。しかし、これらはすべて**産みの苦しみ***の始まりなのです」

*世界規模の戦争を指す。

***産みの苦しみ** …世の終わりのイスラエルの苦難

「イザヤ26:16~17 【主】よ。苦難の時に彼らはあなたを求め、あなたが懲らしめられたとき、彼らはうめきの声をあげました。子を産む時が近づいた妊婦が**産みの苦しみ***で、もたえ叫ぶように、」

世の終わりは、イスラエルの産みの苦しみ



産みの苦しみの時代

マタイ24:7~8

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり*、
あちこちで飢饉*と地震*が起こります」

*世界的な戦争を指す

第一次世界大戦(1914~1918)

第二次世界大戦(1939~1945)

*大飢饉(1920・中国、1921・ロシア…etc)

*大地震の激増

19世紀・2119回 → 20世紀・90万回

(関東大震災・1923…死者10万5千人)



大きな枠では、世の終わりの時代に突入している!!

神の計画・この時代に起きること

携拳は、いつ起こるか分からない

地震の激増

①世界大戦

(ホロコースト)

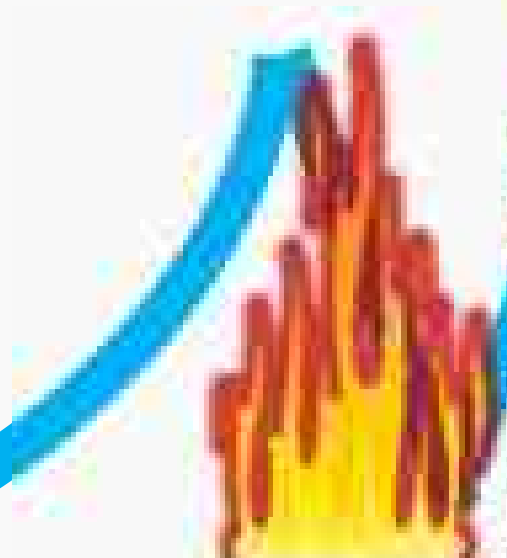
1914~

キリストの再臨

イザヤ書の中心

大患難時代
(7年間の裁き)

千年王国



II. イスラエルの建国

1948年 近代イスラエル建国

独立宣言に署名する指導者ベングリオン



裁きのための帰還

ゼパニヤ書2:1~2

「ともに集まれ、集まれ。恥知らずの国民よ*。
御定めが行われて、その日が粃殻のように過ぎ去ら
ないうちに。

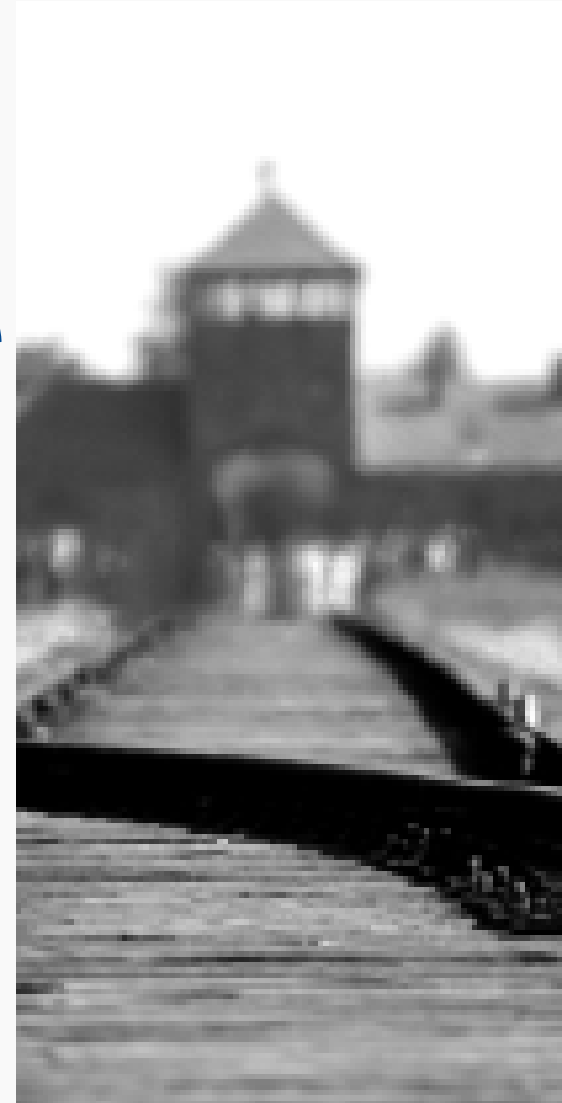
【主】の燃える怒り*が、まだあなたがたを襲わない
うちに。【主】の怒りの日*が、まだあなたがたを
襲わないうちに。」

*“不信仰なままのイスラエルの帰還”を示す。

→イスラエル建国の立役者は社会主義者が多い

*主の怒りの日 …大患難時代のこと

→主の怒りの日は、第一にイスラエルへの裁き



神の計画・この時代に起きること

携挙は、いつ起こるか分からない

(ホロコースト)

①世界大戦

地震の激増

(不信仰なままの帰還)

②イスラエル建国

1914~

1948

大患難時代
(7年間の裁き)

イサヤの中心

キリストの再臨

千年王国

III. エルサレムの支配

1967年 第三次中東戦争

エルサレム旧市街。神殿の丘を占領したイスラエル兵たち



エルサレムは、すでに
イスラエルの支配下に!!

再建される神殿

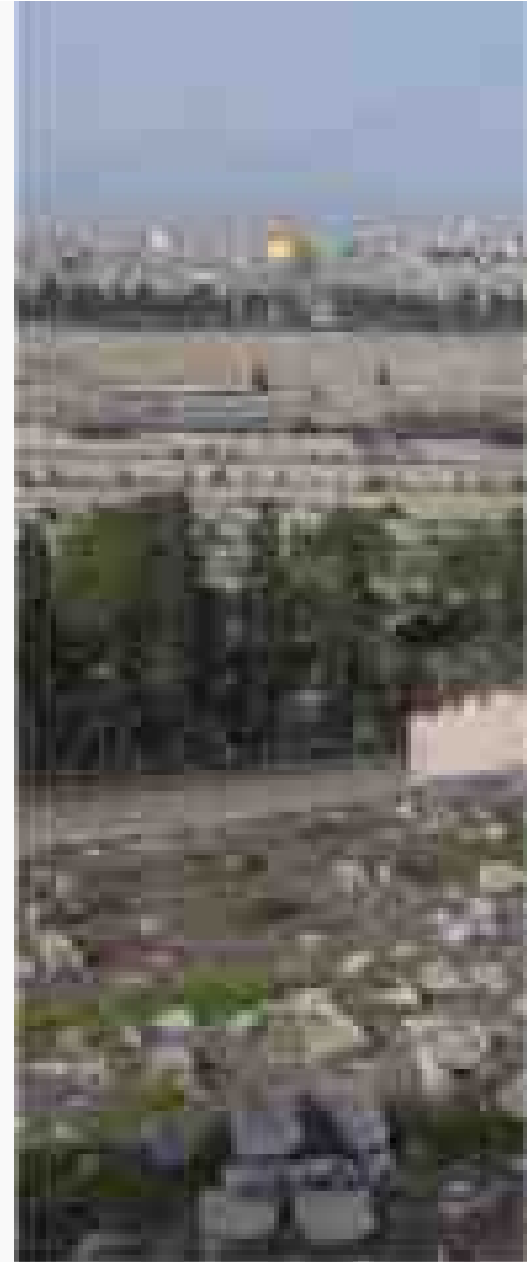
マタイ24:15、Ⅱテサ2:3~4

「マタ 24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『**荒らす忌まわしいもの**』*が**聖なる所***に立っているのを見たら」

「Ⅱテサ 2:3 まず背教が起こり、**不法の者**、すなわち**滅びの子**が現れなければ、主の日は来ないのです。2:4 **不法の者**は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、**神の宮**に座ることになります。」

■**反キリスト***は、**エルサレム神殿**を蹂躪

→大患難時代には、**神殿**が再建(**第3神殿**)



現在の神殿の丘

- 所有・警備 → イスラエル。
- 礼拝の場として占有 → イスラム
 - ・ アルアクサ・モスク(丘の南側)
 - ・ 岩のドーム(丘の中央)
- ユダヤ人の礼拝の場は、今も神殿の西壁。
- 第三神殿の建設準備を着々と進めている、過激なユダヤ教徒の一派もいる。



エルサレムを支配 占有にはいならず、神殿もまだない!!

神の計画・この時代に起きること

携挙は、いつ起こるか分からない

(ホロコースト)

①世界大戦

地震の激増

(不信仰なままの帰還)

②イスラエル建国

(旧市街占領)

③エルサレム支配

(イスラエルの表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

1914~

1948

1967

大患難時代
(7年間の裁き)

エルサレムの回心

キリストの再臨

千年王国



IV. 北の諸国連合の侵攻

エゼキエル書38～39章

これから起きることの前提条件

①イスラエルの平和と繁栄

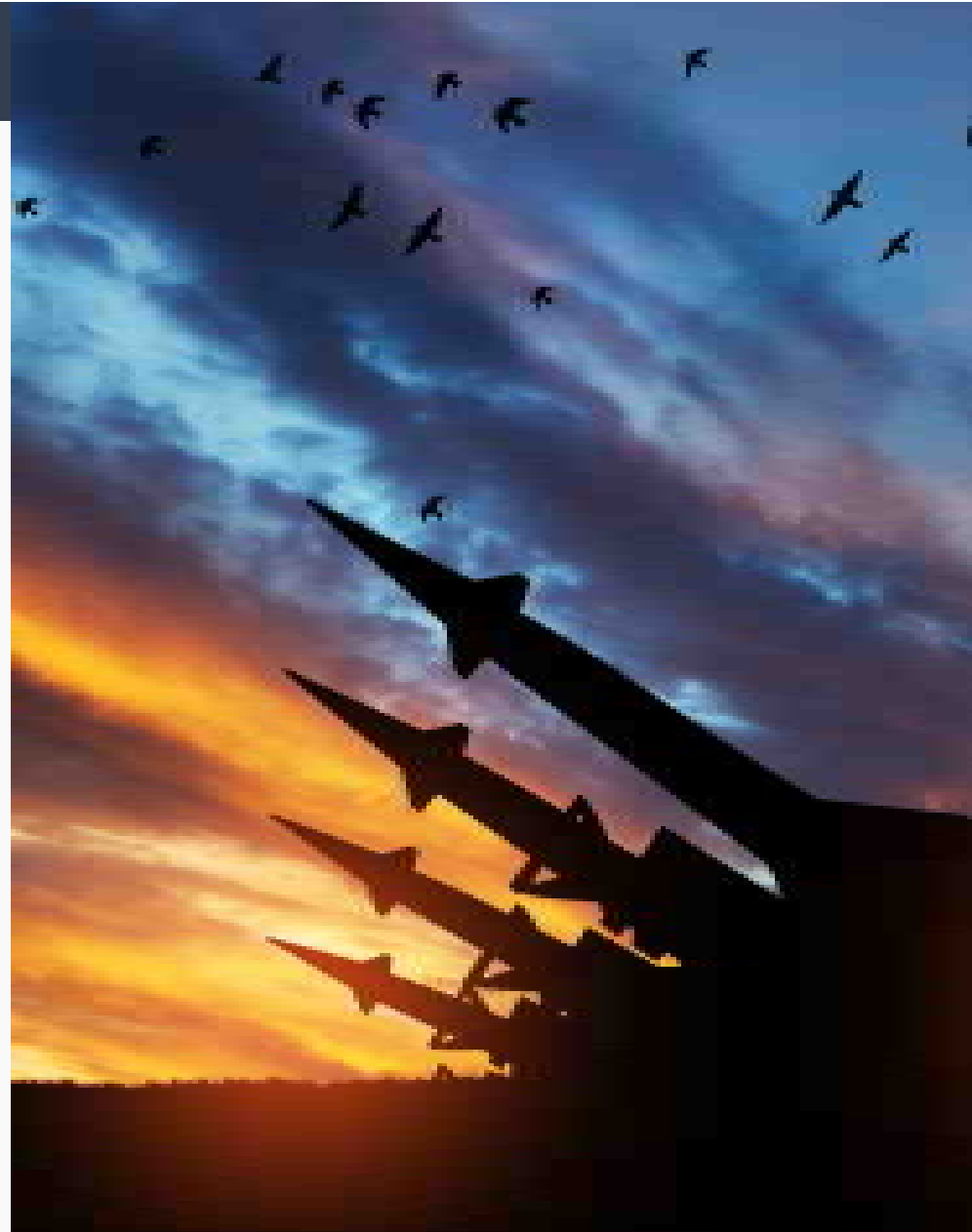
②全世界で高まる反ユダヤ主義

①イスラエルは栄え、国力は増す

②イスラエルへの憎しみも増す

■この究極が、大患難時代!!

➔前哨戦が、北からの侵攻! ?



誰が攻め込むのか？

エゼキエル書38:1～6

『【神】である主はこう言われる。メシェク*とトバル*の大首長であるゴグ(王の称号)よ。今、わたしはおまえを敵とする。わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。… ペルシア*とクシュ*とプテ*も彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。ゴメル*とそのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマ*とそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。

*メシェク、トバル …ロシア南部、イラン、トルコ

*ペルシャ(イラン)、クシュ(エチオピア?)、プテ(ソマリア)、ゴメル(ドイツ?)、トガルマ(アルメニア)

背後にサタン

ロシア中心

アラブ含まず

侵攻の目標

エゼキエル書38:7~9

備えをせよ。おまえも、おまえのもとに召集された全集団も構えよ。おまえは彼らを統率せよ。

多くの日が過ぎて、おまえは徴集され、多くの年月の後、おまえは、**一つの国**に侵入する。そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廃墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。その民は国々の民の中から導き出され、みな安らかに住んでいる。おまえは嵐のように攻め上り、おまえと、おまえの全部隊、それに、おまえにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。



侵攻先は、平和と繁栄を享受するイスラエル

神の目的

エゼキエル書38:14~16

「それゆえ、人の子よ、預言してゴグに言え。

『【神】である主はこう言われる。**わたしの民イスラエル**が安心して住んでいるとき、まさに、その日、おまえは知るようになる。

おまえは**わたしの民イスラエル**を攻めに上り、地をおおう雲のようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前に**わたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。**」

神の目的は、イスラエルが聖なる神を知るため!!



神を知るために

エゼキエル書38:22～23

「わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる。 — 【神】である主のことば —。剣による同士討ちが起こる。わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき**彼ら(イスラエル)**は、わたしが【主】であることを知る。」

■ゴグの軍勢は、神の超自然的力によって敗退、全滅

不信仰のイスラエルは、聖なる神を知る



侵攻の後

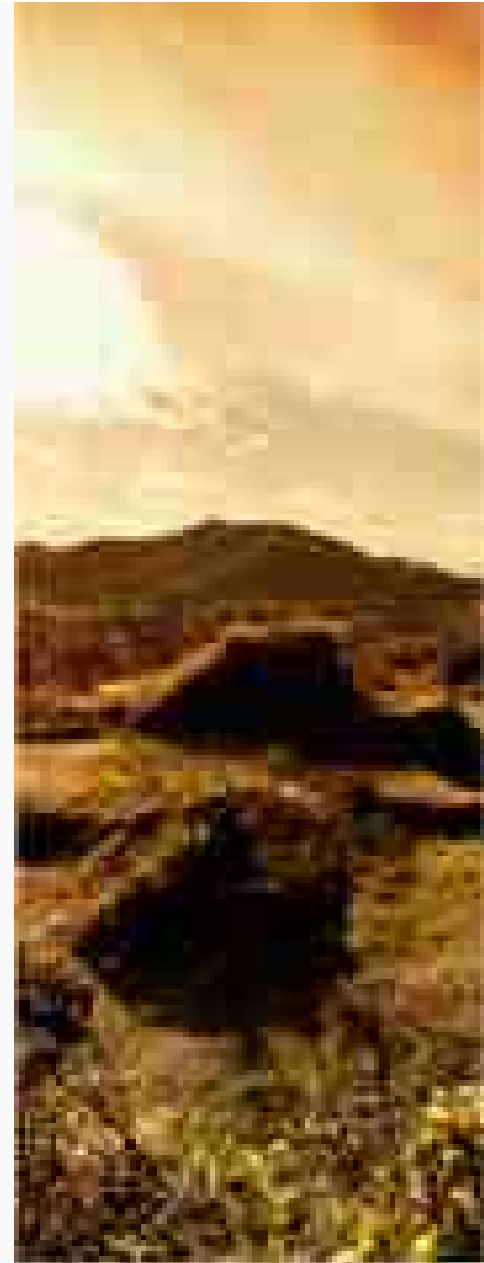
エゼキエル書39:9~16

イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、**七年間**それらで火を燃やす。

その日、わたしは、イスラエルのうちに、ゴグのために墓場となる場所を設ける。それは、海の東にある去りゆく者たちのための谷である。そこは通行人の道をふさぐ。そこにゴグと、その大軍すべてが埋められ、そこはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。**七か月間**、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。…**彼らは国をきよめる。**」

← 一時的回復

■ 軍勢の残骸処理に、**7年間**。死者の埋葬に、**7ヶ月**



北方からの侵攻 まとめ

エゼキエル書38～39章

- イスラエルは再建され、平和を享受している
- おもに北方からの連合軍(ロシア中心?)が侵攻
→ **アラブ諸国は中立**
- 連合軍は敗北
→ **神の超自然的な力によって滅亡**
- 連合軍の残骸処理に7年、死体の埋葬に7ヶ月
→ **史上空前の規模の大軍隊**



現在のイスラエルと中東情勢

- アブラハム合意 …アラブ諸国との国交回復
→ 敵(イラン)の敵(イスラエル)は味方
- ロシア、イラン、トルコの影響力が増大。
→ ハマスやヒズボラは先兵
→ 背後には、中国、北朝鮮も
- 世界中で激化する反ユダヤ主義



繁栄し、国力を増すイスラエル ますます高まる反ユダヤ主義

神の計画・この時代に起きること

携拳は、いつ起こるか分からない

(ホロコースト)

①世界大戦

地震の激増

②イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)

③エルサレム支配
(旧市街占領)

④北方からの侵略

(イスラエルの表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

1914~

1948

1967

大患難時代
(7年間の裁き)

エルサレムの回心

キリストの再臨

千年王国



V. 世界政府の出現

世界統一政府

ダニエル書7:23～24

『第四の獣は地に起こる**第四の国***。これは、ほかのすべての国と異なり、**全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。**十本の角*は、この国から立つ十人の王。彼らの後に、**もう一人の王***が立つ。彼は先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す』

*地上の異邦人の帝国の最終段階

→**ローマ帝国**(共和制)から始まり、**世界政府**に

*世界政府が十に分かれる →10の行政区？

***反キリスト**は、まず世界の3/10を支配する。



世界政府の予兆! ?

- 世界的影響力を持つグローバル企業
- インターネットの世界的普及
- 個人情報の電子化・電子マネー
 - ➔ 人体埋込チップも実現
- 強まるネット上の情報統制
- 独裁国家での徹底的な管理社会
- 国連の反イスラエルはますます鮮明

➔ ある時、これらが合致して
世界政府が一気に出現?!



反キリストが登場!!

神の計画・この時代に起きること

携拳は、いつ起こるか分からない

(ホロコースト)

①世界大戦

地震の激増

②イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)

1948

(旧市街占領)

③エルサレム支配

1967

(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

④北方からの侵略

⑤世界政府

⑥反キリスト
と契約

大患難時代
(7年間の裁き)

エルサレムの回心

キリストの再臨

千年王国



VI. まとめと適用

世の終わりに生きる私たち
聖書の希望は終末的希望

世の終わりに生きる私たち

① **世界大戦**は起き、**大地震**も**大飢饉**も増え続けている。

② **イスラエル**建国、エルサレムを支配

③ 次に起こるのは、**北方からの大侵略**
予感させるような状況の変化が…

➔ ハマスの大規模テロ(背後にイラン、ロシア)

反ユダヤ主義の世界的高まり

➔ 中東情勢の激変。**アラブ諸国とイスラエルの和平**

携挙はいつ起こるか分からない

聖書の希望は終末的希望

- 人間の力で世界を救うことはできない。変えることはできない。
- 王の王として来られる、**再臨の主イエス**が、世界を回復される。
- 主イエスの十字架の贖いと復活は、文字通り成し遂げられた。
 - 主イエスの再臨と世界の回復も、文字通り成し遂げられる

私たちに求められるのは、聖書に記された神の約束への信頼



気をつけて!!

要注意!!

“新聞記事神学”に

Newspaper Theology



聖書に地名が出てくる範囲



アメリカも中国も、日本も韓国も北朝鮮も、聖書には出てこない。
「地の果て」呼ばれる異邦人世界は、終末では端役ですらない。

世の終わりに求められる基本的な態度

「惑わされないように気をつけなさい。**わたしの名を名のる者***が大ぜい現れ、『私がそれだ』とか『時は近づいた』とか言います。そんな人々のあとについて行ってはなりません。ルカ21:8」

***自称キリスト、偽預言者は、ますますたくさん現れる。**

■ “世の終わりだ、破滅だ”と煽る人も増えていく。

- ➔ 預言の成就是、聖書通り、“起こって初めて確認できる”
- ➔ 現在進行中の出来事が、預言の成就是かは分からない!!

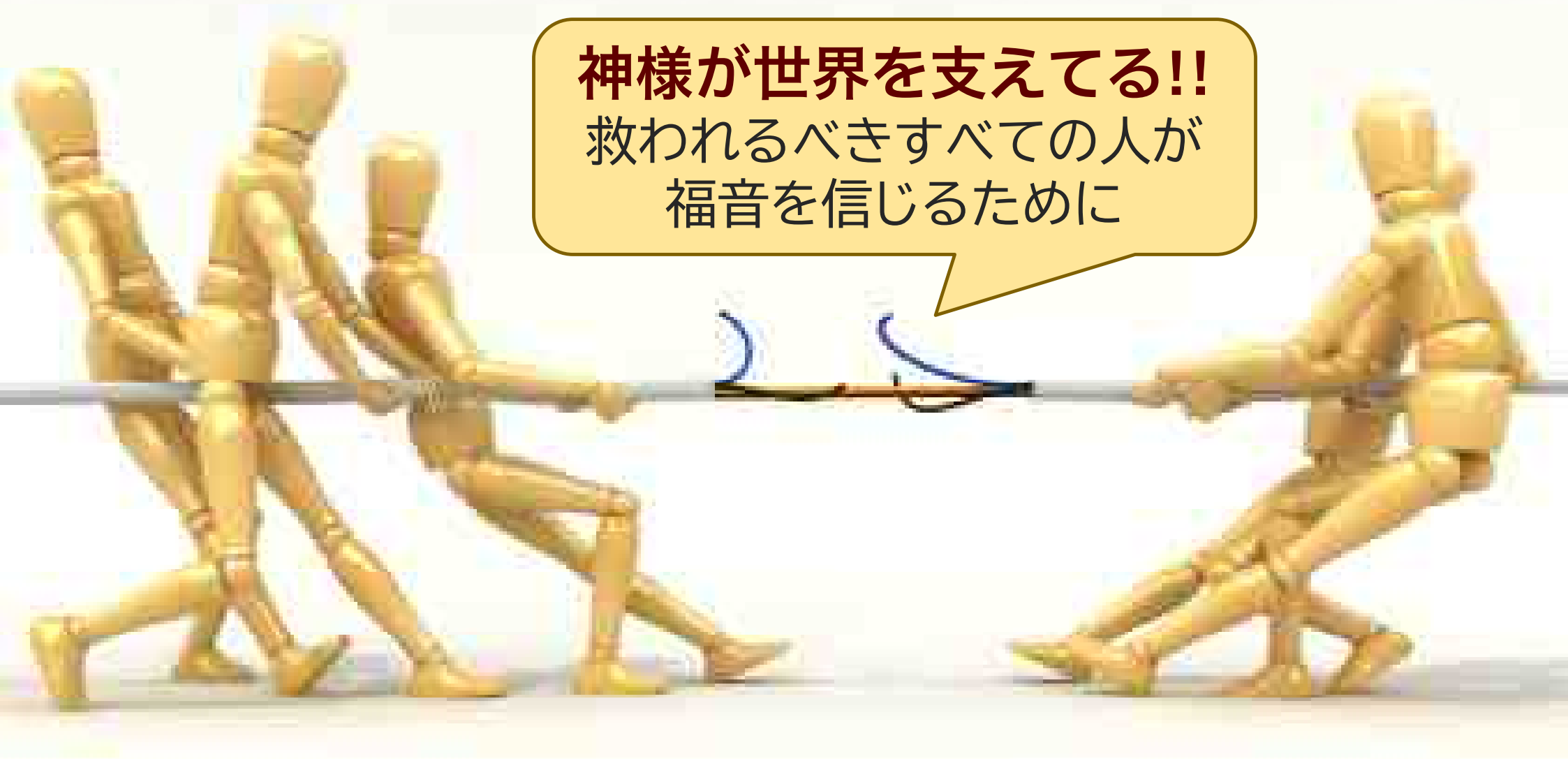
最悪から守られているのが、今の時代

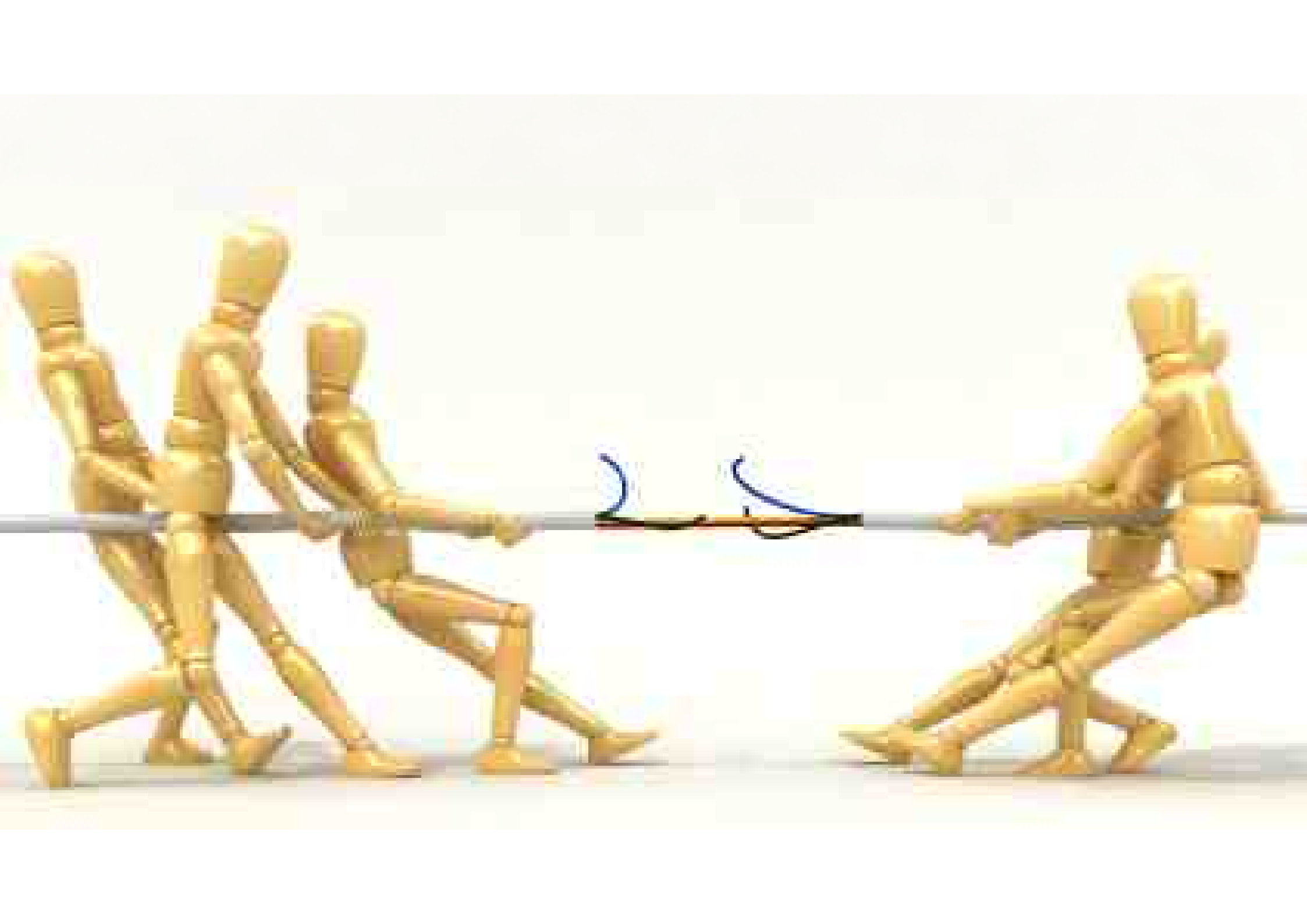
「黙示録7:1 その後、私は四人の御使いを見た。彼らは地の四隅に立ち、地の四方の風をしっかりと押さえて、地にも海にもどんな木にも吹きつけないようにしていた。」

- 大患難時代前半の記述。最終的な裁きの災いをとどめる天使の姿。
- 今の時代、悪の力は神が制限され、最悪の災いは止められている。
張り詰めた綱引きは、**携拳**を引き金に、ぷつんと切れる。
→**携拳**後、あっという間に世界は終末になだれ込んで行くだろう

時は近づいているけど、まだ本当の世の終わりじゃない

神様が世界を支えてる!!
救われるべきすべての人が
福音を信じるために





「携挙(空中再臨)」を待つ態度

■ | テサロニケ4:11, 16~18

また、私たちが命じたように、**落ち着いた生活**をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。

…すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、**生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会う**のです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。

主の平和の内に歩もう

■ II テサ3:10~12,16

あなたがたのところにいたとき、働きたくない者は食べるな、と私たちは命じました。ところが、あなたがたの中には、怠惰な歩みをしている人たち、何も仕事をせずにおせっかいばかり焼いている人たちがいると聞いています。

そのような人たちに、主イエス・キリストによって命じ、勧めます。**落ち着いて仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。**

…どうか、**平和**の主ご自身が、どんな時にも、どんな場合にも、あなたがたに**平和**を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてとともにいてくださいますように。

★ 落ち着いた信仰生活のために ★

- 深まっていく世界の闇、戦争も災害も疫病も、いつ何が起こってもおかしくない時代に私たちは生かされている。
- 神のイスラエルとの約束が、土地と深く結びついているように、聖書が求めるのは、主への信頼に基づいた、落ち着いた生活。
- 兄弟姉妹と呼びあえる、顔と顔を合わせた関係性を育みあおう。
- 私の内で御言葉が根を張り、実を結んでいくよう学びを深めよう。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ ふたた こ しん もの てん あ
主イエスは、再び来られ、信じる者すべてを天に挙げ、

きた だいかんなんじだい さば すく
来るべき大患難時代の裁きから救ってくださいます。

わたし えいこう からだ あた えいえん かみ おうこく まね い
私は栄光の体を与えられ、永遠の神の王国へ招き入れられます。

しゅうまつ きぼう へいあん うち わたし つか もち
終末の希望をもって、平安の内に私を遣わし、用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」